

所 信 声 明 文

『 校友会大改革 ～全ての校友のために開かれた校友会を～ 』

平成 28 年 12 月 19 日
昭和 56 年卒 今井義博

平成 9 年、私が校友会に参加した理由は「校名変更」を阻止するためでした。同年開催された校友会総会へ乗り込み、校名変更を推進しようとする当時の理事長と校友会執行部と真っ向から戦いました。平成 11 年の総会、徹夜で抗議文を作成し 200 名近い委任状を集め、校名変更を阻止するために多くの仲間達と反対の声をあげたことが昨日のこのことの様です。

あれから 19 年、校友会では常に是々非々で発言し続けてきましたので執行部や他の代議員の皆様にはうるさい奴だと思われていることでしょう。野球部（甲子園）のために募った校友からの寄付金を余ったとの理由で一般会計として扱い全く別の用途で使用してしまうことにも真っ向から反対してきました。現在やっと野球部への指定寄付として扱われるようになりましたが、改革すべきこと、校友会として成すべきことは山積しています。

特に校友会会則は根本からの改革が必要です。当然、最高議決機関である代議員会制度の改革は急務です。その上で時代に即した校友会活動を実現するために代議員の皆様と共に以下の事項について 3 年をかけて実現したいのです。

- (1) 校友会会則の改革（代議員制度、選挙制度改革など）
- (2) SNS（インターネット）を活用した校友同士のコミュニケーションの活性化
- (3) 校友会主催の成人式（初等部から早実だと地元の成人式に参加しても友人が少ない）
- (4) 社会で活躍している卒業生の生徒向け講演の企画
- (5) 代議員会のネット配信（情報発信&公開レベルの向上と IT 化）
- (6) クラブ応援基金の改正（配分定義の改正）
- (7) 新たな収益構造の構築（HP のバナー広告など）
- (8) 女性コミュニティーの立ち上げと女性役員を選出
- (9) 一般校友の議決権や選挙権、委任状などの新たな定義作り
- (10) 私が設立管理する FB グループ『早実魂』との連携（12 月 19 日現在 1979 名）
- (11) 早実稲門会との連携（早稲田大学稲門会支部として平成 27 年 7 月 8 日設立）
- (12) 各専門委員会の設置（会則、運営、企画など）
- (13) 各クラブ OBOG 会の設立運営サポート

代議員の皆様のご協力を心からお願い致します。早実魂。